

諏訪小だより

令和5年12月22日
12月特別号
多摩市立諏訪小学校
校長 齋藤 幸之介

御礼ー冬休みの過ごし方をお伝えしながら

先週行いました学習発表会には多数御参観いただきまして、誠にありがとうございました。学年によっては欠席者が増えてしまいましたが、予定通り実施いたしました。平素の成果の一端を御披露しましたが、いかがだったでしょうか。

昨日は5年生が社会科見学を行いました。今回も欠席者が少なくありませんでしたが、施設の予約もあるので実施をいたしました。欠席をした子供たちの保護者の方々にはこの場をお借りしてお詫びを申し上げるとともに、御理解を賜ればと存じます。

3学期制ですと考えられなかった時期にいくつかの行事を行えました。これも一つの利点となるかどうかを検討しながら今後に生かしていきます。

いくつかの窮地を脱しながら

残暑厳しい中再開した9月1日からの学校生活は、いくつかの行事を組み入れながら進みました。例年の7月から9月になった6年生のすわっ子市場を皮切りに、遠足(1・2年生)、消防署見学(3年生)、社会科見学(4年生)、と校外での学習が続きました。社会科を中心とする平素の学習に「実際に触れる」ことによって理解を深めるべくいくつかの見学を行いました。また、全校での運動会は予定を変更せずに行うことができました。

学校公開は、土曜日以外には一斉に御来校いただくには至っていませんが、教室での様子を御参観いただくことはできるようになりました。

その他、プラスバンド部が永山フェスティバルとブリリア多摩ニュータウンの入居10周年オープニングセレモニーにて演奏する機会を得ました。すわっ子市場と併せて地域の方々には貴重な機会を与えていただいたことを改めて感謝いたします。

この間、2回の学校閉鎖を実施しました。かつては冬の季節に流行することが多かったインフルエンザが秋にずれ込みました。今回は、特に感染が早く、あっという間に学級そして学年・学校と広がっていった感がありました。1度目を終えた効果があるのでは、と思っておりました。しかし、運動会直前の感染拡大には「まいった」というのが正直なところです。時間を逆算しながら予定を変更せずに行う算段を行

いました。この間、PTAの役員の方々からは貴重な意見を頂戴しました。

こうして、窮地を脱することができましたのも保護者の皆様、そして地域の方々の御理解と御協力あってのこと、と深く感謝をする次第です。私は、着任当初より「地域に愛される」「保護者には通わせてよかった」「教職員は働き甲斐のある」学校像をお伝えしてまいりましたが、改めて皆様のお力の有難さを感じているところです。

ここに感謝を申し上げるとともに、今後共多大なるお力添えを頂戴したく深くお願い申し上げます。

年末・年始を一つの契機として

先日、地域の方より子供たちの遊び方が危ない、との御連絡をいただきました。また、自転車の乗り方についても御意見を頂戴したところであります。「万が一」と題し、私は子供たちに安全な生活についてお話をしました。

また、先週には、都内小学校にて2名の児童が、オーバードーズで倒れた、との報道がなされました。様々な事情はあったかもしれませんが、何かしらの情報を基に子供たちが薬を過剰摂取するということが小学校で行われたことにも驚きましたが、何よりも子供たちが安易に薬物を手に入れることができることを認識し、大きな衝撃を受けました。

学校では例年薬物乱用防止教室を行っております。また、かなり前より学校から薬等を提供して服薬させることはしておりません。薬に対する教職員の意識は高まっています。

学校が責任を回避するつもりもありません。しかし、学校だけで抑止できるものではないことも、皆様には御理解をいただけたと思います。きっと何かが起こるのは「万が一」でしょう。しかし、その「一」の恐ろしさ、多大なる影響を皆様はどうお考えでしょうか。これも先日の報道ですが、繁華街で複数名の子供たちが補導されましたが、その中には小学生もいた、とのことでした。危険や誘惑が一層高まる年末年始を契機として、改めて安全に過ごす大切さを御子様とお話いただければと思います。

年が明け、9日にまた元気な姿を拝見したいと思います。お待ち申し上げます。